

ご挨拶

皆さま こんにちは！ 中央区議会議員のわたなべ恵子でございます。皆さまと共に歩く区政を推進する中、日頃は皆さまよりお育て頂きまして、誠にありがとうございます。

中央区は平成29年度6月より、区の20年に渡る「中央区基本構想」を施行しております。29年度は、前半10年間に渡る「基本計画」を策定中であることを踏まえ、私は第三回区議会定例会に際し、平成28年度第四回区議会手例会において取り上げた「地域自治力強化に向けた今後の人口推計をもとにした区のコミュニティ形成について」に続き、日本の急速な少子高齢化の中、人口増加中の本区独自の人口推計をもとに、今後区政に及ぼしていく様々な影響について、今回は「プロアクティブコミュニティにおける地域協働の在り方について」、また、超高齢化社会に向かう中、これから高齢者施策に占める医療・介護など社会保障費の増額が見込まれる中、支える世代が減少していくことを踏まえ、若いころからの健康寿命対策を講じる必要があることから、今から始めるべき施策として、若年世代から熟年世代まで、全世代で取り組めるエビデンスに基づいた「区健康事業に基づくウォーキングポイント事業」について質問しております。

また、3歳児検診では親がキットを使い目の検査をしますが、このときに弱視を見逃すケースが少なからず出ていることから、弱視を見逃さない対策について、また視力を育てる啓発について、質問しております。

それでは、これからご説明いたします。



豊洲視察



北九州市が取り組む、高齢者相談ワンストップ事業と、地域に支え合いを視察



北九州市が取り組む、高齢者相談ワンストップ事業と、地域に支え合いを視察

ウォーキング、ランニングを日課にしている人たちは、「長寿遺伝子」のサーチュイン酵素を作るスイッチが入ることが研究で証明されています。(スウェーデン カロリンスカ研究所)

1日8000歩(20分早歩き)ウォーキングは、現在横浜市、奈良県、和歌山県(田辺市、紀の川市、海南市)で導入、現在全県を挙げて取り組む方向)、山口県山口市、長野県、秋田県、兵庫県神戸市で実施中。「よこはまウォーキングポイント事業」は平成26年11月から事業展開中。

18歳以上に万歩計を配布し、歩数計を読むリーダーが各町に備えられているため、各地で地域とのコミュニティが広がる効果も報告されている。

現在、国民健康保険費、介護保険費、後期高齢者保険費、医療費が増大しており、かつ、今後、

65歳以上を支える生産年齢人口は減少していくことから、健康事業にウォーキングを取り入れ、区民の全世代で取り組むことは、中央区が『基本構想』で目指す「中央区スタイル」にもなり、また、東京2020大会のレガシーとして区民に健康事業を残せることにもなる。見解は?

■区長答弁：ウォーキングは手軽に行われる健康づくりとして有効。本区は魅力的な水辺の街並みが豊富。この街並みと健康の視点を活かしたウォーキングコースの設置を検討している。『ポイント事業』は楽しみながら健康維持増進への取組を推奨する施策として認識している。様々な施策と連携し、健康増進事業を充実させ、取り組んでいく。

わたなべ恵子の解説

平成30年度予算案に「ウォーキングマップ作成」として東京都から351万円助成がつき、日本橋、京橋、月島各地区で60分、90分コース、計6コース作成することになりました。「ウォーキングマップ作成後の展開」こそ重要です。定期的な運動習慣はカロリンスカ研究所の研究で、前頭葉と側頭葉の連携が強化されることも最近の研究で発表しています。31年度にマップを活かす一層の充実を図れるよう、今後も担当課に伝えてまいります。

三歳児検診時の視力検査について

■わたなべ：三歳児検診の際、母親が視力検査キットを使用した検査を行うため、弱視を見逃し、手遅れになるケースが各自治体で発生。視機能は6歳頃までに成長を遂げるため、早期発見、早期治療ができる環境整備が必要。また視機能が育つ0歳～4歳までのゴールデンタイム時期に、視機能を育てる情報を保護者に伝え、適切な啓発をお願いしたいが所見は?

■区長答弁：視覚以上について早期発見・早期治療ができる環境を整え、子どもの視力を育てることは重要と認識している。厚生労働省からの通知を踏まえた取り組みを着実にやっていく。乳幼児期は視力の発達に重要な時期と認識している。スマートフォンやゲーム機などの使い過ぎに注意喚起するなど、乳幼児検診時の母子保健事業を通し、保護者へ啓発する。

わたなべ恵子の報告

残念なことに、三歳児検診で見逃してしまい、幸いにも母親が気づき、早期発見できたというケースが私のもとに報告されています。両親のどちらかに、ご自身が子どものころ見逃されたケースがある場合、遺伝を気にした保護者が気づくことが多いようです。さっそく、担当課に報告しました。担当課では、今後の検診時で早期発見できる仕組みを取り入れる方向で現在、動いています。

結びの言葉

平成29年度は任期の折り返し時期を迎えております。

平成29年12月14日、立憲民主党から中央区で初の区議会議員の入党が許可されました。立憲民主党の党員となっても、私の政治信条は、「区民の皆さまと共に歩む」です。3年前、「わたなべ恵子」と書いてくださった区民の皆さまからの応援と声援により、今、私の議会活動が実現されております

ことに心から感謝し、残りの任期も手綱を緩めることなく、積極的に仕事をしてまいります。

区民の皆さまのご意見・ご要望をお聞かせいただきながら、皆さまと共に創りあげる行政運営をこれからも推進してまいります。

今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。